

3月定例市議会 一般質問から

伊那市議会3月定例会の一般質問は、対面式・問答方式により、3月6日、7日、8日の3日間にわたって行われ、20人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をおしらせします。



除雪対策について

問 若林敏明議員 この冬は降雪と凍結で非常に苦労した。緩やかだが大規模災害と同じだ。今回を教訓に除雪体制の見直しを。

答 市長 大雪（第三次出動）の際は地元区長の要請にも極力応えるが、住民の補助的除雪もお願いしたい。自己負担100円で除雪を頼める高齢者生活援助制度もあるので周知したい。

小水力発電の展望

問 若林敏明議員 東日本大震災以降、再生可能

エネルギーの地産地消が求められている。研究成果と今後の展開は。

答 市長 長谷の一貫水路は採算面で難しいが、観光・防災面を加味して更に検討する。高遠ダム維持水利用は県企業局が事業化する。伝兵衛井筋は採算面で十分可能だが管理者との協議が宿題。今後は専門的知識や交渉が必要で専門部署を設ける。

辺地の定住化対策

問 若林敏明議員 過疎地域限定の定住促進策を市全域の辺地に広げるべき。農園付き住宅を提案する。

答 市長 今後、生産人口増を目指し、定住促進策を市全体で展開する。特に新規就農に取り組む。

ないのでは。③長野県で打ち出した「デジタル農活」への取り組みについて考えは。

答 市長 ①世田谷の花卉市場で花、名古屋の市場では野菜、新宿では果物を中心にセールズを行った。市場の責任者も現地視察に訪れるなど、安全・安心な農産物の宣伝につながり、販路が広がっている。②男女共同参画の観点から、女性の割合は3割程度が望ましいが、現状では地区推薦の立候補者は男性のみ。地域の皆さんの意識改革と女性が出やすい環境づくりに心がけたい。③新規就農者対策を重要視しており、「デジタル農活」については、今後、県、J Aと協力し取り組みたい。

チャイルドシートリサイクル会の周知と推進を

問 竹中則子議員 リサイクル会の周知と推進を。

答 市長 市報、新聞、有線放送など利用して周知している。不要になったチャイルドシートを提供してもらえよう小学校低学年の全ての家庭にチラシを配布し募集している。園児服などのリサイクルも保育園の保護者会が中心となって取り



通学路の安全確保

問 宮島良夫議員 ①東春近小学校PTAで作成した「東春近AKBマップ」は安心安全、危険箇所、ベストの遊び場がわかりやすく載っている。市内の15小学校、6中学校の通学路の安全マップ作成を。②通学路の危険箇所を減らす施策について考えは。

答 教育長 ①安全マップは12小学校、3中学校で作成している。学校の判断で作成しているのが現状。東日本大震災の反省を踏まえ、学校生活に即した防災マニュアルの見直し、具体的な訓練に取り組んでいる。また、安全マップの見直しについても働きかけていく。②点検で分かった23カ所の改善を進める予定。地区役員、道路管理者など危険箇所の情報を共有することが大事。

地方交付税制度の堅持

組むよう働きかけたい。

公民館報いな



南アルプスエコパークとユネスコエコパークへの取り組み

問 中山彰博議員 ①南アルプスジオパーク（中央構造線エリア）の山梨・静岡への拡大は。②学芸員を採用し、専門部署・課を設け、一層の取り組みを。③ユネスコエコパーク登録への取り組みは。

答 市長 ①山梨・静岡側のエリアを含む南アルプス全体のジオパーク申請に向け、3県の推進協議会に登録検討委員会の設置を提案していく。②25年度はジオパーク推進のための新しい組織をつくり、イベントなど積極的に実施したい。③先行しているジオパークと調整を図り、山梨・静岡と連携して近々国内申請を行い、ユネスコエコパークの登録を目指す。また、その先の世界自然遺産登録も目指している。

栗沢川の崩落と今後の対応

問 中山彰博議員 栗沢川の整備計画と国道15

問 宮島良夫議員 市職員

の給与が県内19市の中で最も低い。市内の企業でも市職員の給料表を参考にしている。そのことから地域経済にも影響する。市長はどの水準にまで引き上げるべきと考えるか。

答 市長 若い世代は更に低い給与水準。適正な水準まで引き上げていくよう取り組んでいる。

小学校の運動会のあり方

問 平岩國幸議員 ①小学校の運動会は残暑・猛暑

を避けて10月に実施するよう考えたかどうか。②運動会は体育授業と考える。観戦中の飲酒は好ましくないが、教育委員会の考えは。

答 教育次長 ①来年度から子供の健康面を考慮して9月下旬から10月上旬や6月に変更するよう考えている。

②教育委員会の方針ではなく、学校、保護者が十分に話し合い、観戦中の禁酒をするかどうか決定してほしい。

2号と駒ヶ根長谷線への取り組みについて考えは。



答弁用語の「検討する」、「研究する」とは

問 二瓶裕史議員 議会で「検討する」と答弁を行った後のプロセス経過が見えない。公開・報告をしては。

答 市長 議会で提案があり検討を要するものに関しては庁議で確認している。関しては庁議で確認している。すぐに答えがでないものもあるが、検討事項はいつも頭の中にある。公開については「検討したい」。

愛のムチが暴力か

問 二瓶裕史議員 体罰は決して許されるものではない。体罰問題は人権問題そ

問 平岩國幸議員 ①期日前投票制度があっても年々投票率が低下している原因は何か。②午後8時までの投票時間の繰り上げは考えていないか。

答 選挙管理委員長 ①若者の政治離れが考えられる。なお一層の投票の呼びかけなど啓発に努めていく。②投票時間の短縮については県内19市の選挙管理委員会においても短縮について要望している。

市道の除雪路線の見直し

問 平岩國幸議員 高齢化に伴う限界集落と言われている地域の除雪をどう考えるか。

答 市長 大雪警報などが発せられたときは、区長の要請により状況判断し除雪する。

伊那市の農業政策

のものを。教師を監視するのではなく、生徒側が体罰は許されないことだと知り、客観的な立場の人に相談できることが必要。法学教育の強化と、校内法律相談制度を提案するかどうか。

答 教育委員長 社会科や道徳で二層学びを深めたい。法律相談制度は考えていない。

伊那市環境保全条例について

問 二瓶裕史議員 強制を伴わない法は存在意義がない。景観・環境・観光の点からも「ポイ捨て」禁止条項に罰則を定めてはどうか。

答 市長 継続的な教育や啓発で意識向上を図りたい。悪質な場合は厳しく対処する。

農業から伊那市の活性化を

問 竹中則子議員 ①市長のトップセールスの成果は。②女性農業委員が2人では少

問 新井良二議員 ①地域営農組織に対する経営指導・助成措置はどのようになっているか。②「人・農地プラン」の策定状況はどうか。

答 市長 ①J Aの営農指導員からの指導などがある。戸別所得補償制度により集落営農組織に対する補助は少なくなっている。国は集落営農組織の法人化を進めており、今後の新しい支援の動向を見極めたい。②「人・農地プラン」は、人と農地の問題を解決する将来の設計図であり、平成25年度以降も人・農地プラン地域連携推進員を配置し、随時見直しを行う。

防犯灯のLED化について

問 新井良二議員 ①市内の防犯灯の数はいくつあるか②防犯灯のLED化を市の事業としてできないか。その際、必要な予算はどのくらいか。

答 市長 ②防犯灯の多くは自治会で管理。LEDの補助制度も始まったばかりで、今のところ市の事業として二斉にLED化することは考えていない。更新の際、LEDを

設置するようお願いしていく。
総務部長 ①防犯灯は、自治会が独自に設置しているものが相当数あり、市としては総数を把握していない。



小学校就学前の子どもの教育、保育子育て支援について

黒河内浩議員 ①幼保小連携の結果の具体化について、保小連携システムを活かしたカリキュラムを早急に作成し、実施していくことが必要。②子育てのための審議機関設置と条例の制定について、子育てのあり方を審議するための「子ども・子育て会議」を早急に設置し、条例化していくことが必要と思われるが、市としての見解は。③幼児期の教育も考慮した組織とするため教育委員会も追加した審議会とすべき。④保育園の民営化は、市の経費削減を目的とするものでは絶対にあつてはならない。民営化に対する市の見解は。

市長 ①連携は確実に効果を上げている。連携

が更なる実りあるものにするため保育実践の中で活かしていきたい。②国からも教育、保育、子育て支援の3本柱を中心とした審議会を設置するよう要請があり、6月定例議会には条例案を提出し子育て支援体制を組んでいく。③教育委員会も全面的に協力していく。④民営化については検討を開始したばかりで今後慎重に議論していく。市の経費削減のためではなく、保育全般の資質向上と、保護者のニーズに応えたサービス提供のためを目的としている。



学校やクラブ活動社会体育の場での体罰について

柳川広美議員 学校や部活・社会体育の場で体罰は。部活後の社会体育は、睡眠や勉強に配慮しているのか。教育次長 現在、教職員・保護者・子どもにもアンケートを行っている。社会体育の場での体罰は何件か情報が寄せられているが、そういう事実は特定できていない。相談には応じていきたい。部活後の社

会体育は学業優先としている。
在宅介護の支援策
柳川広美議員 軽度の人が増えている。介護度が低い人に移送サービス補助を。保健福祉部長 高齢者福祉券など利用率が低いので制度設計を見直したい。

風疹の抗体を持たない30代・40代男性への周知について
柳川広美議員 妊婦への風疹感染予防対策は。市長 母子手帳交付時に啓発している。

伊那中央病院におけるがん生存率の公表について
柳川広美議員 治療5年後のがん生存率公表の支援を。市長 市も可能な範囲で支援をしたい。

伊那市の観光戦略と広域観光への取り組み
小平恒夫議員

伊那市の観光戦略と広域観光への取り組み
小平恒夫議員

小平恒夫議員 市観光協会の自立化に向けた具体的な事業内容は。市長 今年度から協会のあり方を検討している。新年度は行政と協会の役割分担の明確化、事務局体制強化に向けた取り組みを進める。協会を軸に観光戦略の強化を進めたい。

外国人観光客誘致事業（インバウンド）の推進について
小平恒夫議員 市は海外からの観光客増加（インバウンド）に向けた事業を積極的に進めていくべき。市長 市でもあらゆる機会を捉え、事業を進めていく。県や木曾、伊那谷地域との連携を図りながら外国からの観光客や修学旅行の受け入れにも体制の強化を図りたい。

仙流荘・入野谷宿泊の経営状況と冬期間の営業について
小平恒夫議員 仙流荘と入野谷の冬期間の営業対策をどのように考えているか。市長 現時点で両施設は黒字経営は厳しい。仙流荘は山岳観光の拠点。入野

谷は健康、孝行猿の伝説、ゼロ磁場など上手に活用し、特に冬期間の集客に力を入れたい。
前澤啓子議員



保育園民営化は誰のため

前澤啓子議員 ①保育園を民営化して、子どもにとってどんな利点があるのか。②都会の大手が参入した場合、市民の税金が都会に吸い上げられることとなるがどうか。③労働組合と話し合ったのか。④民営化をしたほうが補助金が多くなるという仕組みが問題。OECD加盟国中最低の子育て教育予算をもっと増やすよう国に要望を。

市長 ①多様な保育形態によって生きる力をはぐくむことができる。②あくまで研究段階で、都会の業者が来ると決まったわけではない。③研究段階であり、労働組合との話し合いには至っていない。保健福祉部長 ④三位一体の改革で保育園運営費が一般財源化された。市の保育園運営費16億円に国県の補助金はほとんどな

い。私立への国県支出金は手厚く、民間は運営しやすい仕組みでもある。見直しもしていただきたいと個人的には考える。

福祉灯油の要請について

前澤啓子議員 ①低所得者への「福祉灯油購入助成事業」を行ってほしい。②国の燃料価格高騰対策に対してJAとして取り組んでいるが、生産者負担分を市で助成を。

市長 ①今の単価は19年当時に比べてまだ低い。対象把握から交付まで1ヶ月かかり、その頃には暖かくなるので効果が無い。②市で生産者負担分を持つことは考えていない。



保小連携について

橋爪重利議員 保小連携の取り組みは事例として、今後について考えは。

市長 子供が指示待ちでなく、自ら考え行動できる指導をしている。また、保

育要録を小学校へ送るなど、保育士が共通認識のもとで取り組めるよう工夫している。

小中連携について

橋爪重利議員 中学校への進学时、新環境に適應できない事態が生じる。市の中学校の不登校生徒は60数名で、中一ギャップが原因ともいわれる。これらを解消するため、小中連携を強化してはどうか。

教育長 入学時の人間関係、部活など多忙な中学校生活、教科担任制などが原因と考えられる。解消には、早期発見、適切な対応、小中の交流事業などが大事。中学校の先生が小学校で行う出前授業や、児童が中学校で授業を体験するなど取り組んでいる。小中の連絡会も開催し、情報交換を行っている。西箕輪小中で教科担任制の授業を考えてみたい。

図書館について

橋爪重利議員 図書館から遠い地区の保育園へブックポストを設置しては。

教育長 利便性の向上を目指し、対応できる方策を検討したい。

飯島尚幸議員

空き家・空き土地バンク登録推進事業の充実

飯島尚幸議員 ①空き家バンクは市のホームページで毎月1000件ほどのアクセスがあり、定住促進の上から充実策が必要。情報収集や顧客対応など専任職員の配置が求められる。②空き土地活用の一環として、長谷地区の南アルプス村裏周辺の市有地を分譲地として売り出すことを提案するが。

親孝行の讃歌について

飯島進議員 ①道徳教育の基本的考えは。②「親孝行の讃歌」事業継続を。市長 ②当面は継続を予定しているが、子供たちや地域への効果を検証し、次の発展を考える必要がある。事業実施により醸成される親孝行をキーワードとした地域のアイデンティティの情報発信、地域振興、観光振興にも継承しなければならぬ。

公共施設の長寿命化対策

飯島尚幸議員 県営農道保全整備（西部1号線）の対象範囲、橋梁名、歩道の設置場所などはどこか。

市長 南箕輪村境から西春近小出三区地籍までの全長約5.2キロメートル。補修・補強の橋は西部戸沢橋など5橋。交差点改良・歩道設置は小出二区を予定している。

伊那市の鳥類調査について

飯島進議員 ①雷鳥の生息数と市の保護策は。②カモシカの生息数と食害は。市長 ①雷鳥の餌となる高山植物が鹿の食害にあつている。個体数調整による鹿の減少が高山植物や雷鳥の保護につながる。今後も鹿の捕獲、高山植物の保護に取組んでいく。

農林部長 ①全国で30年前3000羽が現在2000羽。南アルプスは720羽が300羽に減少していると推計。②平成21年の県の調査では南アルプス600から700頭、中央アルプス4000から5000頭。ヒノキなど被害額、約400万円。



設計委託に対する市長の考え方

設計委託に対する市長の考え方

問 若林徹男議員 建造物は機能がなければ、良い飾りやモニメントは不要。今後の委託について考えは。

答 市長 多様な利用者ニーズに過不足なく対応する必要があり、特に安全性、耐久性、機能性、経済性を重点に、華美にならないような必要ものを整備していく。

スマートインターの設置計画の現況と今後の手順

問 若林徹男議員 24年度から27年度の今後の計画手順は。

答 市長 伊那消防署の移転、大規模災害を想定したときには大変重要。25年度には関係機関との勉強会を開催し、国土交通省に申請する予定。26年度用地買収、27年度工事着手し、供用開始したい。

学校給食アレルギー対策

問 若林徹男議員 ①市長の基本的な考え方について。②教育委員会の対応は。

答 市長 ①アレルギーの対象が増えている。痛ましい事故が起きないように学校と

家庭が連携を密にすることが必要。

教育長 ②毎年、児童・生徒の保護者にアレルギー対応食の希望調査を実施。希望する保護者には校長、教頭などが面談にて聞き取りを行っている。



前田 久子

予算編成における歳出削減策

問 前田久子議員 ①包括公募型補助金を導入するが効果は。②公共施設工事に設計、資金調達、建設運営を民間業者が一括して行うPFI導入の考えは。③公共施設照明をLEDに。リース式にする従来からの電気料で初期費用が浮き、以後は電気料削減にもなるが。

答 市長 ①部局内で事業をまとめて予算化し、その範囲内で活用する伊那市独自の手法。370万円の削減を見込む。②研究する。③よく調査をして推進したい。

不妊症支援体制について

問 市長 ①部局内で事業をまとめて予算化し、その範囲内で活用する伊那市独自の手法。370万円の削減を見込む。②研究する。③よく調査をして推進したい。

問 前田久子議員 妊娠はしても赤ちゃんの誕生に至らない状態の人への検査、治療費を助成する考えは。

答 市長 不妊治療に助成をしているので、当分は現状の形でいきたい。

24年度特定健診について

問 前田久子議員 ①受診率アップに向けて市内26ヶ所の医療機関の協力など、さまざまな工夫をしてきたが結果は。②胃癌の原因とされるピロリ菌検査が健康センターで実施されているが検査助成については。

答 市長 ①8%アップの42%に。②国の動向をみて検討をしていく。



唐澤 千明

建築物耐震化への推進

問 唐澤千明議員 ①市が管理する建物の耐震工事について、小・中学校の耐震化率と工程の進捗状況について考えは。②高遠町及び長谷

総合支所は建設年月も古く耐震改修の必要もあるが考えは。③基幹避難所残り2ヶ所の耐震化への考えは。④木造住宅の耐震化について精密診断をした872戸の耐震補強補助への取り組みは。

答 市長 ②高遠、長谷総合支所の耐震化は合併10年後の位置付けを検討する中、移転か改修か決定する。④相談窓口を常時開設している。耐震化を進めるためのリーフレット、広報番組などで啓発していく。

ポイ捨て防止に関する条例

問 唐澤千明議員 環境保全条例に組み込まれている第37条を取り出し、新たにポイ捨て条例制定への考えは。

答 市長 環境審議会で諮らせた経緯があり、直ちに条例化は難しい。平成25年度に環境保全計画の見直しがあるので検討する。

第2回全国ハイシニア信州さくら大会について

問 唐澤稔議員 市営球場が改修されているが、4月20日の全国大会に合うか。

答 唐澤稔議員 指導者が223名、日本体育協会の講習会を受けて認定されている。今後も体罰は絶対に行わないよう積極的に指導をしていきたい。



唐澤 稔

ベースボール型スポーツの導入

問 唐澤稔議員 ティーボールを学校教育現場に取り入れてほしいが市の考えは。

答 教育次長 本年度については小学校15校のうち10校が体育の授業に取り入れている。6年間を通して計画しているが、各校の判断に任せている。

スポーツ指導における体罰

問 唐澤稔議員 子供や女性の指導には配慮が必要。今後の対応について考えは。

答 教育次長 指導者が223名、日本体育協会の講習会を受けて認定されている。今後も体罰は絶対に行わないよう積極的に指導をしていきたい。

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。翌日には再放送も行っていきますので、是非ご覧ください。

答 教育次長 4月12日まですが工期。現在工程どおりに進んでいる。工程管理をしながら大会に合わせたたい。



飯島 光豊

平成25年度一般会計予算案と土地開発公社の解散について

問 飯島光豊議員 ①三セク債(起債)20億5000万円は市の失策による借金のツケを市民に負わせること。結果責任としての市長の自己評価は。②地価下落による評価損に今後の借金の償還利息を加えれば8億円以上の市民の税金が消えた。市長はこれを重く受け止めないのか。③市長は、市民に借金を負わせ市財政に大穴を空けたことを謝罪しないのか。

答 市長 ①公社解散のための財源に三セク債(起債)をあてることは全国的な流れで、必然的なものであると思う。②土地の下落は全国的なことで、経済状況に左右されて日本全体が下がった背景がある。企業誘致を進める上で土地の保有は必要であった。③企業誘致を引き続き推進していくというス

タンスに変わらない。

公約違反のTPP交渉参加

問 飯島光豊議員 市長は、昨年の総選挙でTPP交渉参加反対を公約して当選した自民党宮下一郎衆議院議員に「公約違反をするな」と強く申し入れるか。

答 市長 地域の声を聞くということは当然であるので、そのような申し入れは必要。



柴崎 喜夫

南アルプス国定公園指定50周年関連事業について

問 柴崎喜夫議員 ①記念事業を計画されているが具体的な内容は。②観光客のニーズに合わせたサービスの提供について。③南アルプス林道バス利用者に仙流荘の入浴券を無料サービスしては。④内藤とうがらしのストラップを作っては。⑤ジオパーク世界遺産登録に取り組むため計上された予算の内訳は。

答 市長 ①記念事業として、いくつかの事業を計画されているが具体的な内容は。②観光客のニーズに合わせたサービスの提供について。③南アルプス林道バス利用者に仙流荘の入浴券を無料サービスしては。④内藤とうがらしのストラップを作っては。⑤ジオパーク世界遺産登録に取り組むため計上された予算の内訳は。

問 市長 ①快適な山小屋空間の創出、ジオパークといった環境学習など、持続的に保護・活用する取り組みを行う。②ボランティアガイドの養成、おもてなしマップの提供、ホームページを活用した情報発信に取り組む。③現段階では難しい。④取り組む価値がある。⑤子供ジオツアーやジオパークの案内看板、マップ作成の費用。

答 市長 ①快適な山小屋空間の創出、ジオパークといった環境学習など、持続的に保護・活用する取り組みを行う。②ボランティアガイドの養成、おもてなしマップの提供、ホームページを活用した情報発信に取り組む。③現段階では難しい。④取り組む価値がある。⑤子供ジオツアーやジオパークの案内看板、マップ作成の費用。

JR飯田線の利用促進

問 柴崎喜夫議員 今後、どのように取り組むか。

答 市長 関係者によるワークショップを開催し、話し合いの中で決めていく。

県工科短期大学校設置について

問 柴崎喜夫議員 市内に設置されることを望むが考えは。

答 市長 上伊那7団体で県知事に要望書を提出した。現時点では上伊那でまともなことが重要と考える。

お知らせ

傍聴にお越しください

3月定例市議会は、83名の方が傍聴されました。定例市議会は、どなたでも傍聴できますので、お気軽に傍聴にお越しください。

なお、団体が傍聴される場合は席に限りがありますので、あらかじめ議会事務局までご連絡ください。

請願・陳情

請願・陳情書は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日までに提出されたものを、その定例会で審査します。提出された請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、審査報告の後、採決します。

次回6月定例会審査の受理期限は、5月26日です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認のうえご提出ください。)

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送されています。翌日には再放送も行っていきますので、是非ご覧ください。

チャンネルは次のとおり。
デジタル11チャンネル
アナログ28チャンネル
STB(デジタルチューナー)でご覧になる場合はデジタルC511チャンネル

次回6月定例会の詳細は、「市報いな」6月号をご覧ください。また、市公式ホームページでは議会本会議を録画配信しています。一般質問は議員別に視聴できますのでこちらをご覧ください。
<http://www.inacity.jp/>



伊藤 泰雄 議長